

詞

人正館

[illegible][illegible]

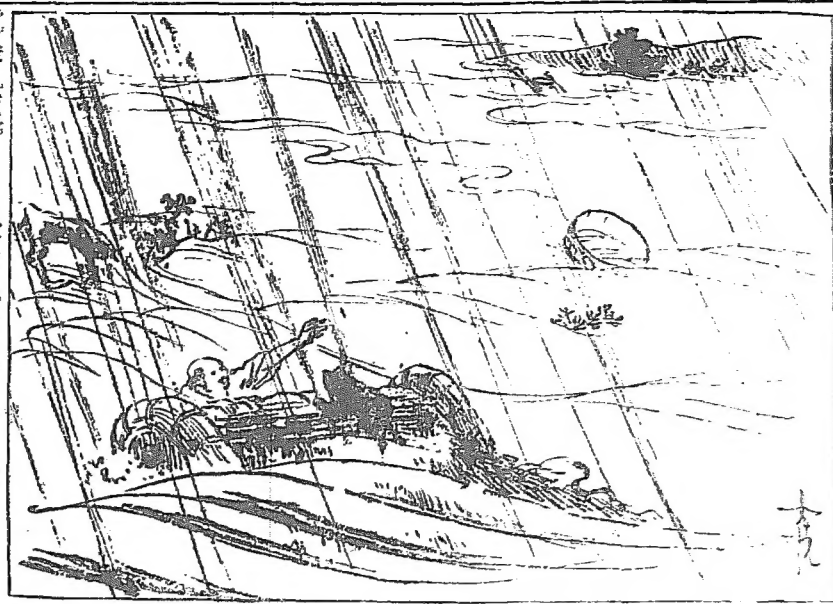
世界之大魔術
每日午發七時開
午開演

[illegible][illegible][illegible]

世界之大魔術
每日午發七時開
午開演

[illegible]

第一百六十七席



泉河原、年々水のために此附近の者が困難いたしました、平生はあの通り水も少ない河原でございすが、八月月頃になりましたと山から水が押し参ります、それがために近村近郷旧地旧畑は申すに及ばず、家も土蔵もございませう悉く流されてしまつて、私も先年名主總代として御領主戸川能登守様へ堤防築立方を願つて出ましたが御本丸御普請御用金其他で入費多額の折柄であるから築立てる譯にはいかないといつてお取上げがございせん、それで據なく立歸つて参りましたが、數多の人達が難儀をいたすのを見捨て、置し譯には難いませうから私が蓄はへました金銀を悉く抛うつて昨年の初めから和泉河原の沿岸へ堤を築き立てる事にいたしました

新ハハア傳然るにございませう、費用も莫大でございませう、方様でございませう、土だけで、併し幸ひに村内の村内に土を運ばまする役、それに入夫の手當などは村内一同でも担も下さる、手前の志を助けて下さるので大に助かります、手前が平素儉約な々々にして置素來に生活するもの斯ういふ都合に用立てたいと思ひますばかり、假令手前共は旧地旧畑山嶽は申すに及ばず、家屋敷を手放して妻子を連れて路頭に迷ふやうになりましたも、村の者が好ければ其で結構、この和泉河原の堤防が成就さへいたしましたれば手前の財産などはどうなりましたも差支へございませぬが假令にしても差支へございませぬで度々洗ひ去られますのが残念、かういふ事に心得のわ

方城銘仙

東京本町二丁目
新荷着
電話八九〇
番三〇二番

代、先づは甲州の武田信玄公に仕
けし者將の一人に數れられた多田
路守清吉といふ人にて之は甲陽武鑑
にも載してゐますが初め御有
さるまいせうか此人が初めて甲
法の軍事といふものを工夫致しま
した傳ハ、ア新山本勘助晴幸とい
ふ人は眞正は無人人物であればやつ
り甲州浪人小幡勘兵衛晴憲とい
ふ人が武田がひいて後徳川家に奉公
して大阪の城攻などに謀略を考へた
代の軍學者、此人が己れの工夫を
本勘助といふ名を託して傳へたに
ない由山本勘助も是を記して書きた
てられています 傳ハア是は初めて
はりました新山本は眞の甲州流
は多田義隆等の工夫したものゝ策威
立、附屬の法、城攻の法、城攻に
火の二法、戦ひにも水火の二法、
水の甲州流では水を多く用ひまし
た戰の城攻にも水を多く用ひまし
た家に點はるものでございますか
幼少の時分から親父や兄共によく
學を學ばせられました 傳ハア
はどうも初めて伺ひます」

右の出向鳥印製元生帳發賣 定規あり
出向鳥印製の製造元生帳發賣 本橋邊馬場

りん病

壹、遠方の注
週文は引替
分圖小包にて
査送る無効
金返す代
週廿金返上す
料不要

ばい毒



壹、遠方の注
週文は引替
分圖小包にて
査送る無効
金返す代
週廿金返上す
料不要

京城龍山漢江通三丁目小學校前支店
龍山ドラック商會支店

鮮朝
京城特電

九月十九日午後
一時五十四分發

目下朝鮮京城開會中の家庭大博覽會本店賣店に於て

畏之

宮内省御料
日本名物の

クワブ 化粧品 一切廿餘種
クワブ 香油 洗粉
クワブ 白粉 齒磨

李り 堀ほり 公こう 殿でん 下ひ より

本日特に御買上の光榮を賜はれり

右謹みて報告す

（**グランド**）
 白粉本店
 十九日午後六時三十分
 著電

國產アムパイヤ號自轉車と
純英國製ニヨークタイヤは
車界之代表的產物

正價 壹組中外共拾九圓五拾錢
 直轄出入商
 發賣元 鈴鹿商店自轉車部
 朝鮮總代理店 京都市

滿蒙處分論


 包紙
 改正
 アル
 ボ
 ー
 ス

從來棹色包紙を使ひ來り
 此處同様の棹色包紙を使
 似し顧客を瞞著し居る類
 品數種あり依而弊社は


當九月發賣

の分より包紙を白色に改
 せり御購入の節包紙に記
 の扇製襷株式會社の入
 に御注意を乞ふ

惡疫豫防と

「柏村博士の ヘルプ」

▲腸胃の健全なるが、惡疾に傳染せざるは生理の超する所なれど、故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ。

定價

 五十冊廿十
 一十圓鐵錢銀度

主治能効
 嘔吐・腹痛・泄瀉・水瀉・霍亂・傷風・感冒・頭痛・腰痛・手足麻痺・心氣痛・胃痛・肝痛・腎痛・膀胱痛・小腸痛・大腸痛・婦人經痛・產後諸症・小兒驚風・疳積・蟲積・一切雜症。

本舖 東京市牛久保町三丁目 津村敬天堂

西支全舖各地分店

大黑天甲斐產葡萄酒
 元寶發鮮朝
 通門小西橋京
 會商昌弘
 七九二話電
 山縣元宮崎商店

癸胃症患者に急告
 候の機り目には風引人数多夫れを
 間に付せに大患なる速に治療を
 京城旭町三丁目一番地
 病持得マツサ一ジ
 電話取次
 三三五
 午前三時午後七時
 長生堂

御妻シモ非違の御座は御座候
御合被下難有御座候
御折柄御母名伺洩れ可
混雜の候間 此段紙上を以て御
禮申上候
九月二十八日
夫後藤相吉
友親族
一
同

京
城
日
報

刊休無中年

[illegible]

朝鮮開發の五年

金融機關發達

閑院宮兩殿下龍山驛より御旅館に向はせらる

米價

我國國政は、昨年来米價下落並に米價暴落の弊あり、米價調節制度を實施し、其他種々の方法を講ずるも、米價は依然下落の方にて、今や内地米價の報道は一日一層甚だしく下落したるなり。

米價の下落は農すべきが得すべきか
商工立國論の苗芽に耽るものは、其
の喜ぶべきを誤つて、貧民労働者其
他米を買入れて生活するものは、其
の下落を便とすべしと雖も、米は我
本土及び朝鮮の第一の主産物なり、
主産物にして其價を減ずるときは、
其れだけ國民經濟上の損失となるべ
く、又國民の大部分を占むる農民に
して其利益を減ずるときは其國內は
是が爲に不景氣を蒙るなり農民の不景
氣は、商工業の不景氣の原因となり
職工労働者の失業の原因ともなるべ
くして、結局は其國民全體の不利益
たらざるを得ず。

併ながら爲政治として米價調節に苦心せる過去の事歴は、其の下落せる場合にあらすして却て其騰貴せる場合にあり、更に立ち入りて云はく米價騰貴其ものは、必ずしも政府を煩はすを要せざれども、騰貴の原因か因作饑饉若くは供給困難等にあるときは、政府は國民の饑饉を救ふ爲めに有らゆる手段を取らざるべからずして、米價の騰貴を抑制し及び其供給を容易ならむるに其力を盡さざるを得ず、是れ世間米價調節といへば、即ち其騰貴を抑制するを意味するものと爲す所以なり、従て米價騰貴を抑制する方法手段に就ては、其智識經驗甚だ富み、其成策皆例甚だ隆かなりと雖も、米價の下落を制止することとは、之に反して先例舊制の學ぶべきものなき所以にして我帝國政府の苦心經營、未だ其功を成す能はざる亦決して其故なきにあ

然りと雖も前述の如く農產國にありては農産物の價格を維持するといふことは經濟上の第一要件なり。我國國本土は云ふまでもなし、我朝鮮のごときは農商工經濟の進進に於て此に存するを以て、爲政者の其心力を致す所なるべからず、只農産物價格維持の事たる一二側策を施して以て之を能くすべきにあらずして、其力を巧みむと欲せば、極めて錯綜極めて複雑なる施設を要するや論なく、試に其主要なるものを

機械園を整備し、農民をして資金に窮して不利なる投げ賣りを爲すをなからしむるを要す、第三に農産物の保管倉庫を設け、第四に農産物の運搬給配の爲めに、交通運輸の便宜を以て、其需要供給の調節を全くす可く、第五に農産物の取引所に嚴格なる監督方法を設けて、不自然なる投機相場を爲すものを制止す可し、以上五若し能はば、此に初めて不買價の弊を舉ぐべく、亦以て農產國經濟の調和を庶幾すべきなり。

らざる割合を以て、行税を納むべきものとする

同行の發行する銀行券は朝鮮に於て法貨たるの資格を有し公私一切の取引に無制限に用ゐるものとす

其銀行券に對し支店に於て金貨又は日本銀行券と並にの義務を負ふは勿論なりとす、此して銀行券の種類は、韓國銀行券に對しては壹圓、五圓、拾圓の三種、而して朝鮮銀行券に對しては百圓の一種を加へて四種とせり

銀行券の流通 朝鮮に於け

瀬戸内海・小豆島・高松を推す唯小豆は、櫻井其種也。一般に秋田紅葉の美を賞し得るは、其區域に僅少也。温度と天候と相俟つて非ざれば此美觀を得る能はず。寒帯亞寒不可也。熱帯亞熱不可也。温帯中に於ても、冬季、天候甚其の關係上、斷斷に全然不良也。支那又江南以南此美觀なし。春は如く、天泥到處其美を觀る可らず。本邦の如き最も幸福の地なりとす。其紅葉の美は紅葉を是とす。紅葉業亦難業なきに非ず。紅葉の範圍は實に紅葉

銀行券は明治十五年の第一銀行券を以て嚆矢とす。當時の紙幣通貨は自銅貨及銀貨を主とし外に小量の銀貨及び金銅貨のありしに過ぎざりしを以て、紙民間に銀行券の何物たりと見做されず。

然るに明治二十年の第二銀行券は舊々葉鈔の模化消滅する前に於て萌えたるものなり。漸くこの新葉鈔と舊葉鈔との間に一種の過渡期を生ずる事となり。是れは自ら限緊なり故に美なるは紅葉相間り青天白水互に色を映するにあり故に秋葉の美も出水の助けを得たり。此の如き新葉鈔の出現は舊葉鈔に非ざれば其美を發揮する能はず。

を知らず、其流連に附し幾多の陰謀を生じたりしが、前年所爲なるに従ひ市略の整理完了を告げ銀行券の信用周知せられたるを以て今や裕福を通じて其流通は些の滞滯を見るに至れり、而して朝鮮經濟界の發展は通貨の需要を増加せること夥しきに従つ同行の發行券は逐年其發行額の膨脹を要するは甚だしく不足なり、今發行創業以來各季の銀行券最高最低及び平均發行高を見るに其平均發行額は明治四十二年下季より大正元年下季に於けるまで毎季増加して遂に二千五百圓を示すに及ぶが如きは、大正二年下季に至つて其額二萬七千七百圓を越するものと推考くべし。

糖樹に次ぎ紅葉の美はカス（楡科）の類）なり此葉の紅葉するや其色樹梢を過ぐ庭前一樹蔭に飽くる景は花と對比するを得クエルクス（楡科の類）も亦相誇らすこの種の美はやマルスと同じからずマルスは色鮮紅なりクエルクスは暗紅なり此種は船ぞ温帯の全部に及びるものと見なす實觀を示すはクエルクスコシニアなりこす此樹は北米産の喬木なり方々十尺に及び其葉の紅色なると共に久しく落ちて數週に及ぶ本邦産のハナソ（クエルクスカランドリフエラ）も紅葉を以て稱する百舌の聲さへハシの紅葉は秋野の榮と云ふ

者しき變化を見 十四年上半季と大差なき状態を維持せるは一見奇異の國なき能はずと雖も是四十四年トより大正七年下半季に亘り同行は腰々政府貸上金を取扱ひたるの結果一時發行高の劇増せしに由るものにして發行の大勢より云ふ時は連年順調なる發達を経たること争ふ可らざるものあり

次に銀貨券の満洲に於ける流通の狀況を一言せんに 最近滿洲兩地の經濟關係密着するに伴ひ同行券の地方に流通するもの多きを以て共に同行が營業所を奉天、大連、長春等に開設したる以來一方には其散布を努めたるより一方には其信用が支那人間に至るまで周知せられたるに依り其流通高は一般の増加を示したるのみならず、流通益々割増せられたる日本銀行券及び横濱正金銀行券と兌換金とを以て發行

て和歌に上るもの少なからず一般に本邦のクエルカスは蕎麦の美あり而して麻生二樂山下の如きはクスの、草薙、藥類なる美觀を呈せり東カナダの秋色は多くクエルカス屬による吾邦の樹木の如し、クエルカス屬の外紅葉の美なるをニイタスこの樹は北米原産の喬木にして蕎麦は然るが如き鮮麗の色をなせり又アブナス屬の蕎麦の葉に飽くは彼の春時の花と共に實するに足る我邦のサクラ又佳なり然れども多くは病葉蟲蝕して其美を棄て及ばず梨樹又佳なり遼東千山の紅葉は即ち是なり我本邦足を見んと欲すは櫻桃植物はつたを第一とす此數多く紅葉に佳なりと雖も我邦産を以て第一とす蕎麦の美は歐州の蘭莖家はカリアメントサを第一とせりこの樹は北米原産の喬木にして形胡桃に類

[illegible]

赤穂義士の事蹟を聴きて其の悲壯を感ぜざる者無く忠臣蔵劇を觀て泣かざる者無し

伊藤先生の盛名は世の定評ある所、今や其格大の健筆と天才の筆を以て赤穂事件の真相と四十七士の苦行を精叙せらるる其の筆を以ては讀者の熱涙を流しめ其勇壯を語りては聽者の心血を靡かしむ。亦た義士の苦心を説きしめ忍耐努力の眞味を悟らしむ。

忠誠四十七士

榮文館

先著一發兌


東京橋南銀座町
振替東京二四八〇番
豐實印刷店全國著名書林

スーロク金
綴八圓壹拾
圓百參十料
頗入參錢
本美錢

今亦た此書現れて讀者の熱望を絞らしむ。

（めい）忠誠心を高揚するや日本男兒の本願と義士の眞面目を絶叫せしむ。之は四十七士の眞出で眞直を語る唯一の大著にして道途に傳ふる義士道義士談とは全然撰を異にせる四十七士の誠忠録也。

◎保険案内の御請求を乞ふ

 太平生命保險株式會社

京城支部
電話一四二〇番

第六回新學期開講
 入會の絶好機は今日
 男爵 清澤榮一先生著
 好評激甚増刷亦増刷
 至誠と努力
 正價壹圓貳拾錢
 送料金八錢
 昭和八年八月廿日

運命は自ら開拓すべき也、夫のみ吾人の運命を左右せん。見よ、徒手空拳巨萬を顧み得たる我貨業界の城を、商に工に農に、大膽痛快なる奮闘式才溢るゝ如き一式の武士あり共ニ斯所に剛權を握る。而して彼々を、驕に替へたるに、信義の怪物あり、秀吉式才溢るゝ如き一式の武士あり共ニ斯所に剛權を握る。而して彼等豪傑の處世術や如何に、成功の秘訣や如何に、名を成し富を積たる現時の積富策や如何に告る。其世路萬般心深慮漸く富貴の處世術策富術を探究し其微を探り細を穿ち姪に本書を公せらる。其世路萬般識者を奪り人稱の機微を極め之より得たる處世の要訣、成功の秘訣は、吾吾人が立志成功の金科玉條たる師に就き處世に師事進歩せしむる所甚大なり。諸君！諸君の探るべき針路は進取か、守成か、須らく此偉大なる師に就

版三忽
進取？
守成？
富豪の積富策

中央大學法學士 川崎 一 氏著
大阪 有朋堂 發行

榮文館——賣捌 城京大阪屋、號 日暮書房 松堂

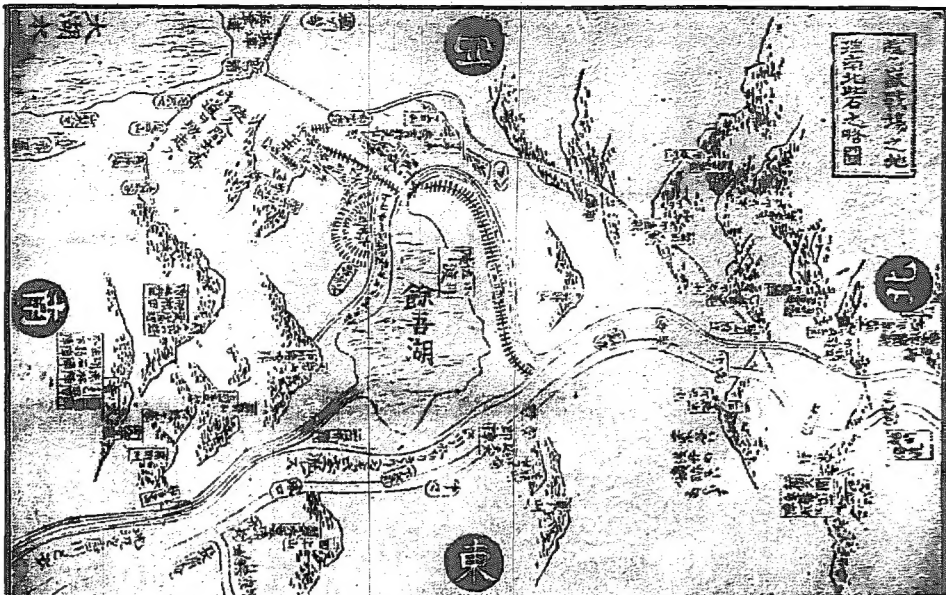
發兌 東京市京橋區南船場町 振豐堂 寶三 〇八 〇番

旗風 (566)

香案浪人

賤が獄前記 (八)

賤の要請は、最う充分出来た。二日はまだ、兩方から手出しがない。秀吉は、細い指で、手を出して居る。...



大敵不敵な、斥候の一行であつた。大敵不敵な、斥候の一行であつた。大敵不敵な、斥候の一行であつた。...

Various small advertisements and notices, including a clock advertisement and a notice about a lost item.

Large advertisement for '田中玄蕃' (Tanaka Genji) featuring a central logo and text about their services and products.

Large advertisement for 'リビ病' (Libi Disease) medicine, featuring a central image of a person and text describing the medicine's benefits.

Large advertisement for 'リビ病' (Libi Disease) medicine, featuring a central image of a person and text describing the medicine's benefits.